

## 新潟大学災害・復興科学研究所 第3回災害環境科学セミナー

### 「山地積雪のモニタリング・変動と融雪災害」

■日時：2013年12月4日（水）14時00分～17時30分

■会場：新潟大学理学部3階大会議室（新潟市西区五十嵐2の町8050）

#### ■次第

14:00～14:05 所長挨拶

14:05～14:10 趣旨説明

14:10～14:30 信州大学山岳科学総合研究所特別研究員・倉元隆之  
「中部山岳地域の降雪に含まれる化学成分濃度の空間分布」

14:30～14:50 信州大学山岳科学総合研究所特別研究員・佐々木明彦  
「GPSを用いた山岳地域における積雪分布の把握」

14:50～15:10 信州大学理学部教授／山岳科学総合研究所所長・鈴木啓助  
「上高地梓川流域における積雪分布の不均一性」

15:10～15:30 立山カルデラ砂防博物館学芸課長・飯田肇  
「立山連峰の近年の積雪変動」

休 憩

15:50～16:10 新潟大学災害・復興科学研究所准教授・河島克久  
「気温・日射量を指標とした融雪強度モデルの山岳地への適用の課題」

16:10～16:30 海洋研究開発機構研究員・宇野史睦  
「数値モデルを用いた地形形状の違いによる斜面全天日射量の比較」

16:30～16:50 新潟大学災害・復興科学研究所特任助教・伊豫部勉  
「富士山北斜面で2013年4月に発生したスラッシュ雪崩災害」

16:50～17:10 防災科学技術研究所雪氷防災研究センター長・上石勲  
「富士山（静岡県側）のスラッシュ雪崩について」

17:10～17:30 総合討論

17:30 閉会

#### ■問い合わせ先

河島克久（新潟大学災害・復興科学研究所 環境変動科学部門・気水圏環境分野）

Tel：025-262-7056 Fax：025-262-7050 E-mail：kawasima@cc.niigata-u.ac.jp

本セミナーは科学研究費補助金基盤研究(B)「山岳地における気温・日射量を指標とした融雪強度モデルの汎用化と雪崩防災への適用」研究集会と合同で開催するものです。どなたでも参加いただけます（参加無料、申し込み不要）。